『水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進』に必要な森林区分ごとの施策の概要と目標

資料4－5

とやまの森 ２８４，０００ha

- 民有林 １７８，０００ha
  - 天然林 １１２，０００ha
    - 保全林（奥山） ５５，０００ha
      - カシナガ被害跡地への実のなる木の植栽 ５０ha
        - クマなどの野生動物対策として実のなる木の植栽 ５０ha
          【計画面積】
          一定のまとまりのある被害跡地への実のなる木の植栽50ha
          【ha当たり単価】
          実のなる木の植栽 1,180千円
          【5年間の費用】
          実のなる木の植栽 59百万円
    - 里山林 ５７，０００ha
      - 現状維持 ５２，６００ha
      - 手入れが必要 ４，４００ha 市町村森づくりプランの合計
        - 里山林整備により手入れ実施済 １，３００ha ただし、地区住民による継続的な管理が必要
          - 里山再生整備事業
        - 手入れ未実施 ３，１００ha
          - 今後５年間で優先的に整備が必要な森林 １，３００ha
            - 広葉樹林等 １，１００ha
              - 病害虫被害林 ６０ha 広葉樹林等1,100haの内数
                - 病害虫被害林の復旧整備 ６０ha
                  【要整備面積】
                  枯損木除去60ha
                  【ha当たり単価】
                  枯損木除去 2,940千円
                  【5年間の整備費用】
                  枯損木除去 176百万円
              - クマ等の野生動物との棲み分けなどの里山整備 １，１００ha
                【要整備面積】
                市町村森づくりプランに掲載されている里山林のうち、地域住民により管理可能な里山林
                155地区、1,100ha
                【1地区当たり整備費用】
                平均3,497千円
                【5年間の整備費用】
                3,497千円×155地区
                ＝542百万円
                542百万－竹林205百万
                ＝337百万円
            - 竹林 ２００ha
              - 竹林の整理 ２００ha
                【整備対象面積】
                竹林1,124haのうち
                ﾀｹﾉｺ生産竹林53ha
                既整備面積322ha
                人工林侵入竹林245ha
                を除く504ha
                【要整理面積】
                うち集落周辺へ拡大し、緊急に整備が必要な竹林 200ha（40%）
                【ha当たり単価】
                1,025千円
                【5年間の整理費用】
                205百万円
  - その他（無立木地,岩石地など） １６，０００ha
  - 人工林 ５０，０００ha
    - 生育途上（手入れ必要）森林 ３４，４００ha
      - 手入れ未実施 １２，５００ha
        - 健全化のため優先的に整備が必要な森林 ８００ha
          - 侵入竹林 １５０ha
            - 人工林へ侵入した竹林の整理 １５０ha
              【整備対象面積】
              周辺へ拡大している竹林245ha
              【要整備面積】
              うち緊急に整備が必要(60%)150ha
              【ha当たり単価】
              初年度
              竹林整理1,000千円
              被圧木整理 200千円
              2,3年目
              再生竹伐採 260千円
              植栽 20千円
              【5年間の整理費用】
              222百万円
          - 風雪被害林 ５０ha
            - 風雪被害林の復旧整備 ５０ha※
              【要整備面積】
              緊急に整備が必要
              50ha
              【ha当たり単価】
              1,880千円
              【5年間の整備費用】
              94百万円
              ※被害の発生状況によっては増加の可能性有り
          - 過密人工林 ６００ha
            - 過密人工林の混交林への誘導 ６００ha
              【要整備面積】
              生活域に近接する放棄林で緊急に整備が必要
              600ha
              【ha当たり単価】
              525千円
              【5年間の整備費用】
              315百万円
  - 国有林 １０６,０００ha
- 混交林
  - みどりの森再生事業
    - 混交林整備により手入れ実施済 ７００ha（過密林510ha、被害林190ha）
- 生産林
  - 成熟（木材生産可能）森林 １５，６００ha
    - 造林公共事業等により整備済 ２１，２００ha ※みどりの森再生事業で整備することとしていた650ha含む
    - 今後５年間で通常の間伐等の整備が必要な森林 ６，８００ha
      - 木材生産林 ６，８００ha
        - 造林公共事業による間伐等の推進 ６，８００ha
          【要整備面積】
          木材生産に重点を置く生産林
          【5年間の整備費用】
          2,000百万円
          ※うち所有者負担３～４割
          （既存の財源）
      - 無花粉スギモデル林 ４０ha
        - 無花粉スギを普及するためのモデル林造成 ４０ha
          【計画面積】
          都市部に花粉を供給しているといわれる標高300m以下のスギ人工林の伐採跡地
          40ha
          【5年間の費用】
          96百万円
          うち森づくり税
          51百万円

里山林整備目標
2,000ha → 2,600ha
前期５年間整備済み 1,300ha（事業費 650百万円）
後期５年間整備計画 1,300ha（事業費 718百万円）

混交林整備目標
2,000ha → 1,500ha
前期５年間整備済み 700ha（事業費 635百万円）
後期５年間整備計画 800ha（事業費 653百万円）

５年経過後まだ整備が必要な森林 １，８００ha

５年経過後まだ整備が必要な森林 ４，９００ha

クマなどの野生動物対策としての県産広葉樹苗の育成と植栽
【対象森林】 混交林整備箇所
カシナガ枯損木除去箇所
竹林整備箇所のうち広葉樹林へ林種転換
【5年間合計費用】 81百万円（実のなる木の植栽59百万円含む）

10年間の整備面積合計：４，１００ha 要整備費用：２，７６６百万円
後期５年間の整備面積：２，１００ha 要整備費用：１，４８１百万円